

小平社協だより



小平市社会福祉協議会
マスコットキャラクター「こぶくちゃん」

発行・編集 小平市社会福祉協議会 〒187-0043 小平市学園東町1-19-13 小平市福祉会館内 TEL.042(344)1217 FAX.042(341)6220
小平社協ホームページ▶ <http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp> 電子メールアドレス▶ zimu-kyoku@syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp

第27回 心にしみる短詩

テーマ「私の宝物」

*敬称略・50音順(学年は令和2年度時点のものです)

佳作		優秀	最優秀	一般の部
松掛 壮太(小平第三中2年)	堀内 謙太郎(小平第六中1年)	細谷 愛(小平第二中1年)	藤巻 幸希羽(小平第五中1年)	長澤 未知(小平第三中2年)
武保 温土(上水中2年)	杉原 弘之	杉崎 菜々子(小平第三中2年)	佐野 悠真(上水中2年)	市川 蓮華(小平第三中2年)
井内 綾乃(小平第三中2年)	小林 重義	三代 小春(上水中2年)	平野 綾乃(小平第二中1年)	安達 みちる
古川 明世(小平第五小6年)	松本 将勝(小平第五小5年)	猪俣 友佳子(小平第五小6年)	川口 夏椰人(学園東小5年)	藤門 せれ奈(学園東小3年)
吉川 結愛(上宿小4年)	植松 寧々(小平第六小5年)	小出 日菜(小平第五小6年)	鈴木 陽南代(小平第五小6年)	高橋 怜音(上宿小4年)
中野 しおり(小平第二小2年)	田原 玲(学園東小5年)	林 綾乃(小平第十四小5年)	藤原 夏紀(小平第五小6年)	



「第35回こだいら福祉のつどい」表彰者

表彰	特別表彰	感謝	寄付者	継続寄付者
渡辺 奉子	祝 迫 利衣子	虹の会	一般社団法人岩田文化事業財団 代表理事 岩田敏雄	編み物サークル ボンボンの会
六郎 万恵子	漆 館 カツ子	川本 和子	東京小平ロータリークラブ	高年齢クラブ
矢野 明子	久保 八重子	金子 協子	日昇工業株式会社	学園東楽友会
星野 芳子	黒沼 友子	海上 玲子	武蔵野銀行久米川支店	高年齢クラブ
平野 美恵子	黒沼 友子	川本 和子	有楽製菓株式会社 代表取締役社長 河合辰信	高年齢クラブ
半谷 喜美子	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
縄 喜美子	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
高橋 敏恵	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
手話グループトライ	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
芝 久江	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
小林 晋作	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
黒沼 友子	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
久保 八重子	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
漆 館 カツ子	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
祝 迫 利衣子	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
特別表彰	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
表彰	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
感謝	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
寄付者	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ
継続寄付者	久保 八重子	川本 和子		高年齢クラブ

今年度の「第35回こだいら福祉のつどい」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止とさせていただきます。功労者表彰および「心にしみる短詩」入選者の皆さまをご紹介します。

実施期間：7月19日(月)～8月31日(火) 予約制

夏! 体験ボランティア2021 活動のご案内

夏休みを利用してボランティア活動を体験してみませんか。昨年度はコロナ禍のため中止とさせていただきます。今年度は応援メッセージカードづくりと防災講座を開催します。参加希望の方は、下記の体験メニューから希望する活動を選んでください。7月12日(月)から電話で問合せ先に希望する活動を申込みください。

体験メニュー

(詳細はホームページまたは問合せ先までご確認ください。)

- ①市内福祉施設の応援!「応援メッセージカードづくり」
50名(先着順) 7月19日(月)～8月31日(火)(土日・祝日を除く)
- ②防災について考える!「防災講座」(1日限定講座)
20名(先着順) 8月4日(水)午前10時～正午

参加対象者

小学4年生以上の市民、市内在学・在勤の方(小学生は保護者同伴で来所してください。)

ところ 福祉会館4階 ボランティアセンター

持ち物 筆記用具

問合せ こだいらボランティアセンター ☎042(346)1424 午前9時～午後5時(祝日を除く月～金、第2・4土)

社協福祉バザー中止のお知らせ

本会では、民生委員児童委員をはじめ、登録団体や自治会などを通じ、多くの市民の皆さまから品物や金銭のご寄付をいただき、また小平市・小平商工会・JA東京むさし小平支店の後援と各種団体の協力・協賛により、11月3日に福祉バザーを開催しています。

今年度の「社協福祉バザー」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係諸機関等と調整の上、やむを得ず中止とさせていただきます。

福祉バザーを楽しみにして下さっていた皆さまには大変申し訳ございませんが、ご理解いただきたくお願い申し上げます。

問合せ こだいらボランティアセンター ☎042(346)1424

高齢者福祉大会中止のお知らせ

90歳を迎えられる皆さま、おめでとうございます。

本会では例年9月に開催しています「高齢者福祉大会」にて90歳表彰を行っています。今年度の「高齢者福祉大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係諸機関等と調整の上、やむを得ず中止とさせていただきます。

90歳表彰対象の方への賞状およびお祝いの品は、9月中旬に登録住所へお送りさせていただきます。

※90歳表彰対象の方は、本年中に満90歳の誕生日を迎える方(昭和6年1月1日～12月31日生まれで、令和3年1月1日時点で小平市に住居登録のある方)です。

問合せ 総務係 ☎042(344)1217

募金箱設置にご協力いただいている皆さまの紹介

vol.4

今回は「小平上水南郵便局(上水南町2-3-23)」をご紹介します。

募金箱を設置することになったきっかけはなんですか?

以前より社会福祉協議会の活動に関心を寄せていました。地域福祉活動に協力できたらと考えていたところ、募金箱の存在を知り、設置することにしました。今では、「ここにも、募金箱があるのね。」と郵便局に来たお客様が募金に協力してくださいます。



募金箱の収益は地域福祉活動の推進に役立てられます。募金箱設置にご協力いただけただけの場合は本会までお問合せください。

問合せ 総務係 ☎042(344)1217
午前9時～午後5時(祝日を除く月～金)

社協の相談コーナー

7・8月の専門相談

成年後見制度の利用、判断能力が十分でない方の権利擁護についてのご相談をお受けします。

7月28日(水)・8月25日(水)
時間:午後1時30分～4時30分

完全予約制
権利擁護センターこだいら ☎042(342)8780



ご寄付ありがとうございます

敬称略【令和3年4月1日～令和3年5月31日】

寄付金合計 1,453,890円

寄付者お名前	金額
1 一般寄付金	1,432,533円
俵 秀明	3,000円
渡辺 忠義	5,000円
細谷 稔	50,000円
小平第二小学校	4,420円
第15期(昭和18年3月)卒業生有志	
東京都トラック協会多摩支部	30,000円
第6地区青年部	
戸田 正三郎	3,000円
ヘルス鍼灸マッサージセンター	10,000円
アドリエ みつわ (4月分)	1,800円
編み物サークル ポンポンの会 (4月分)	50円
高木 照夫	5,347円
KASA (小平自閉症を考える会)	3,599円
こころの広場 竹の子会 林 敬三郎	30,800円
有楽製菓株式会社	1,000,000円
代表取締役社長 河合 辰信	
匿名 6件	285,517円
2 ボランティア指定寄付金	15,357円
高齢者クラブ 寿楽会	10,657円
手編みグループ 小ひつじ (4月分)	4,700円
3 たいよう福祉センター事業寄付金	6,000円
匿名 2件	6,000円

ご協力ください! 未使用の食品および日用品のご提供

本会には、生活にお困りの方や子ども食堂など非営利の食事提供を行っている団体への寄付を目的に、随時、未使用食品および日用品の提供を受け付けています。

令和2年度は約6万点の寄付物品をお受けいたしました。寄付物品は小平市内にて活動をしている子ども食堂や、生活にお困りの方へお渡ししています。ご家庭で眠っている未使用の食品や日用品がございましたら、ぜひお持ちください。必要としている方にお渡しします。

対象となる未使用食品および日用品

- 食品** お米、レトルト食品、インスタント食品、お菓子、乾物、缶詰、調味料、飲料(缶・ペットボトル)
 - 日用品** 石けん、シャンプー・リンス、洗剤、ティッシュ、トイレットペーパー、食品用ラップ、生理用品
- ※賞味期限が1か月未満の食品や生鮮食品は、お預かりすることができません。



寄付物品で作ったお弁当(市内子ども食堂にて調理)
食料品および日用品セット(お困りの方へ)
問合せ こだいら生活相談支援センター ☎042(349)0151

住居確保給付金

再支給の申請は9月30日(木)まで

住居確保給付金の支給が終了した方に対し、解雇以外の離職や休業等に伴う収入減少等の場合でも、9月30日(木)までの申請により、3か月間に限り再支給が可能となりました。再支給を希望される場合は、問合せ先までご連絡ください。



問合せ こだいら生活相談支援センター ☎042(349)0151

緊急小口資金(特例貸付) 総合支援資金(特例貸付)

受付期間は8月31日(火)まで

緊急小口資金(特例貸付)、総合支援資金(特例貸付)の受付は、8月31日(火)までです。新型コロナウイルス感染症により、収入が減少・失業された方への貸付です。貸付を希望される場合は、問合せ先までご連絡ください。

教育支援資金	
対象校	学校教育法に規定する高校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校
内容	教育費(上限) 入学金(上限)
貸付限度額	高等学校 : 月額52,500円 500,000円 短大・専門学校 : 月額90,000円 ※学校の指定した金額まで 大学 : 月額97,500円
借受人等	お子さんが借受人、保護者が連帯借受人
返済期間	14年以内
民生委員との面談	必要

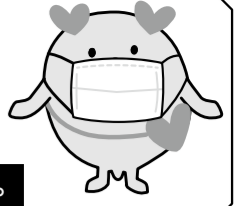
※その他、申込みにあたっては、収入基準、債務の返済状況等、いくつかの要件があります。※相談から貸付決定までには時間を要しますので、借入をご希望の際は、早めに問合せまでご連絡ください。

問合せ 総務係 ☎042(344)1217 午前9時～午後5時(祝日を除く月～金)(相談受付は午後4時まで)

【イベント等に参加される皆さまへ】

「この指とまれ!」他、本会主催のイベント等にご参加の際は、新型コロナウイルス感染症予防対策へのご協力をお願いします。

- イベント当日は、体温測定をお願いします。
 - イベント当日に発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお控えください。
 - イベントに参加の際は、マスクの着用をお願いします。
- 今後の感染状況によっては、イベントを中止させていただく場合があります。



イベント情報

7/19(月) 西部VC講座 7月「この指とまれ!」
楽しくストレッチ
～一緒に体を動かしましょう～

- 日ごろ運動不足を感じている方
 - コロナ禍により外出することが難しく運動する機会が少ない方
- 心身ともに楽しみながらリフレッシュしませんか。

とき 午前10時～11時30分
ところ ほのぼの館内 和室
定員 10名(先着順) 費用 無料
講師 こやま ひさえさん
(NESTA認定パーソナルフィットネストレーナー・ウイメン45スペシャリスト・健康運動指導士)
持ち物 汗ふきタオル・水分補給用の飲み物
申込み 7月5日(月)から問合せ先へ
問合せ 西部ボランティアコーナー ☎042(347)7858 午前9時～午後5時(祝日を除く月～金)



7/19(月) 介護予防見守りボランティア 登録研修
地域でつながる介護予防
～このまちも、私もずっと元気でいるために～

介護予防見守りボランティア事業は、市内の高齢の方に日常生活を中のできる範囲での見守り活動を行っていただく事業です。地域とつながることは、ご自身の介護予防と健康維持にもつながります。お散歩やお買い物、ご近所同士のお付き合いのなかでさりげない見守り活動をしてみませんか。

とき 午後2時～4時
ところ 福祉会館 3階 第1集会室
定員 30名(先着順)
費用 無料
対象 市内在住のおおむね65歳以上の方
申込み 問合せ先へお電話にてお申込みください。
問合せ 小平市地域包括支援センター中央センター ☎042(345)0691 午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く月～土)



7/26(月) 東部VC講座 7月「ブラッとブラッと」
防災クッキング

いざという時に役に立つ、ポリ袋と身近な食材を使って調理する方法を学びます。会場で調理見学をする参加方法とご自宅からオンライン(Zoom)で参加する方法が選べます。オンライン参加の方で希望される方は調理実習も可能です。

とき 午前10時～正午
ところ さわやか館 多目的ホール
定員 会場参加5名(先着順) オンラインZoom参加10名(先着順)
費用 無料※Zoomで参加希望の方は、パソコン等の準備と個人のメールアドレスが必要です。(通信費は個人負担になります。調理実習を自宅で希望される方には、事前に準備していただくものをお知らせします。)
講師 飯田 和子さん
(株式会社WA・ON 代表取締役、日本災害学学会災害学専門員、栄養士、国際薬膳師)
申込み 7月5日(月)から問合せ先へ
問合せ 東部ボランティアコーナー ☎042(451)6711 午前9時～午後5時(祝日を除く月～木)



9月 生活サポーターになって、地域で活躍しませんか?
生活サポーター養成講座

高齢化が進み、生活支援が必要な高齢者が増えていく中で、生活を支える担い手が不足しています。生活サポーターは、専門職でなくても高齢者の生活支援(買い物や掃除など)を行う小平市独自の取組です。あなたの「知識と経験」を活かし、地域で高齢者を支える担い手になりませんか。

とき 右表のとおり
ところ 福祉会館
対象 生活サポーターとして働く意欲のある方
定員 15名(先着順)
費用 無料
申込み 問合せ先へお電話にてお申込みください。
問合せ 小平市地域包括支援センター中央センター ☎042(345)0691 午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く月～土)



1日目	9月6日(月) 午前10時～午後3時
2日目	9月8日(水) 午前10時～午後3時
3日目	9月13日(月) 午前10時～午後3時
4日目	9月16日(木) 午後1時30分～3時30分

お知らせ

- あおぞらわくわく納涼祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係諸機関等と調整の上、中止させていただくことになりました。 問合せ あおぞら福祉センター ☎042(326)4980
- たいようセンターまつりは施設の改修工事のため、中止とさせていただきます。 問合せ たいよう福祉センター ☎042(343)4976 例年ご協力いただいている皆さま、ご参加・ご来場を楽しみにいただいている皆さまには申し訳ありませんが、ご理解いただきたくお願い申し上げます。

無料相続セミナー

7/22(木) よくわかる 相続分のはなし

場所: ルネこだいら3 階会議室
時間: 午前10時～正午
妻予約(先着12名)
マスクの着用をお願いします
お申し込みは下記「栗田」まで
遺言・相続サポートこだいら
行政書士 栗田 明子 行政書士 高柳 昌樹
042-410-0707 042-452-3936



医療保険による訪問リハビリマッサージ専門

● 脳卒中・関節リウマチ・パーキンソン病 その他で歩行が困難な方。
● 随時 無料体験施術を行っております。
※医師の同意が必要です。(同意書は当センターにあります)
ヘルス鍼灸マッサージセンター
☎042-345-5855
小平市天神町1-23-1
ヘルス鍼灸マッサージ 検索

小平社協だよりに 広告を掲載しませんか

幅広く市民の方に知ってもらう機会として活用してみたいかがでしょうか。社協だよりは市内全戸配布しています。
年6回(1・3・5・7・9・11月)発行しています。サイズ 59×55mm 15,000円/号
問合せ 総務係 ☎042(344)1217

高齢者向け 食事付賃貸マンション

小金井市・国立市・八王子市・川崎市麻生区・相模原市中央区
● 管理人常駐の安心感 ●
月額 106,000円より
家賃・管理費・食費・水光熱費込
NPO法人 オアシスらんど
042-540-8166

ピアノ買取

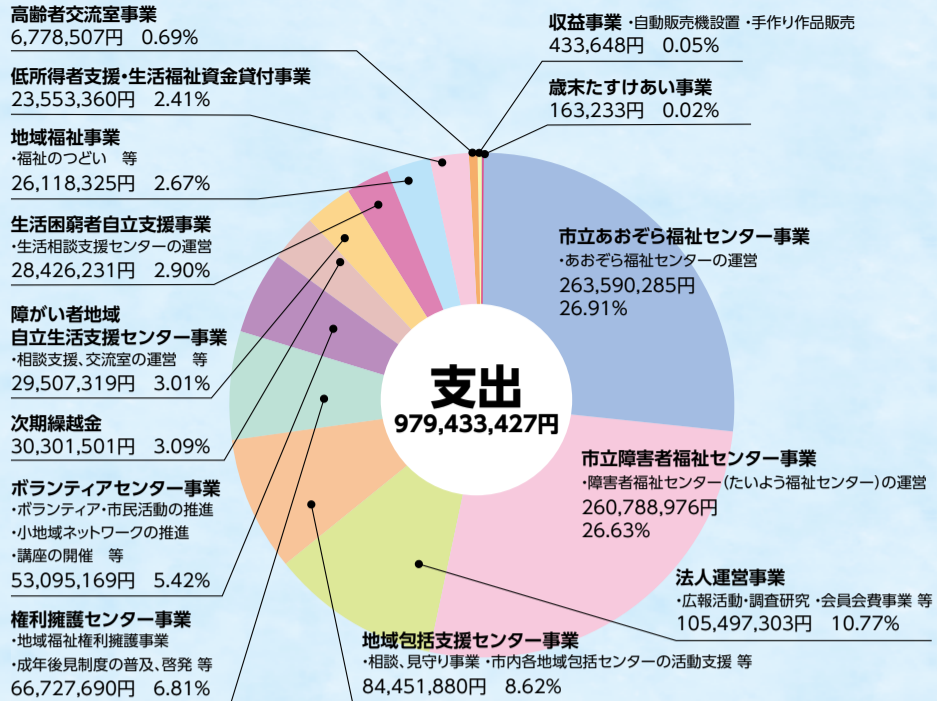
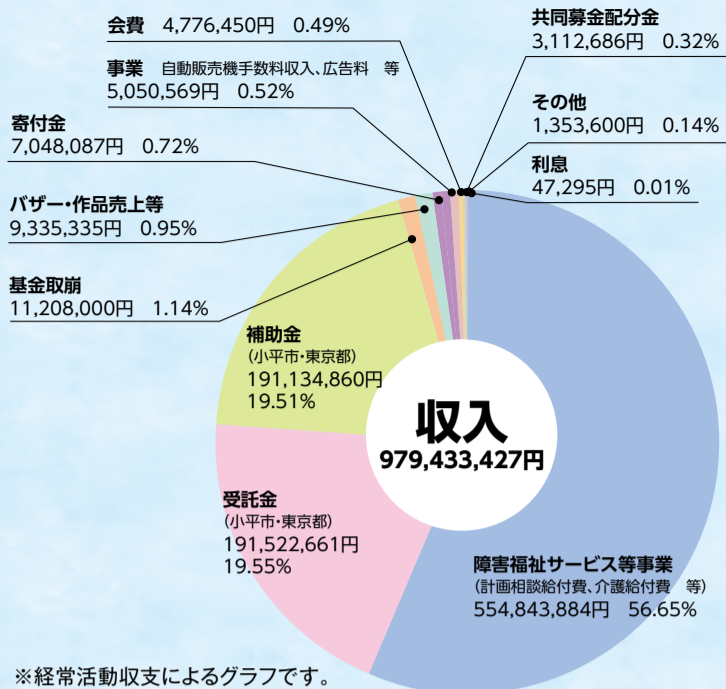
エレクトーン・電子ピアノ処分・買取その他楽器ご相談下さい
TEL042-393-4515
(株)ムラコシ楽器店
東村山市本町 3-7-9

健康保険適用

1割負担の方で約350円～400円
国家資格を持ったマッサージ師が施術に伺います
1回 30～40分
寝たきりに、しないさせないつらい歩行が困難な方、ご自宅でマッサージが受けられます
まずは無料体験マッサージをお試しください
医師の同意が必要です
訪問マッサージじまわり 042-349-0037

成長する企業のための 税務顧問

初回相談 無料
顧問報酬
10(万円) = 39(万円) 未満
詳細は 国分寺市 大森税理士事務所 検索
大森税理士事務所
国分寺市南町3丁目8-17-403号室
042-313-9904
09:00～18:00 土日祝・定休日



※経常活動収支によるグラフです。

第3期小平市社協 発展強化計画

(平成30年度～令和4年度)

中間評価

～市民の誰もが安心して暮らせる福祉のまち「こだいら」の実現を目指して～

本会では、小平市における地域福祉の推進機関としての役割を果たすべく、小平市社協発展強化計画を策定しています。平成30年度～令和4年度の間年として、令和2年度に中間評価を行いました。

これまでの取組について

地域に向けて

①小地域における住民の福祉活動の組織化

- 介護予防講座を通し、より体を動かしたいと希望する皆さまによる自主グループ活動の発足を支援しました。
- 高齢者の孤立防止のため、サロンなど誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりに努めました。
- 子ども食堂の立ち上げ・運営の支援をしました。
- ボランティアに興味を持ってもらうための入口として講座を開催しました。講座終了後も、サークル化の協力やボランティア活動先の調整等、継続的な支援をしました。

②住民参加の促進と連携・協働の体制づくり

- 地域の様々な協議体に参画し、地域の状況把握に努めました。
- 認知症支援リーダーの皆さまの協力のもと、認知症やそのご家族のための居場所として、「オレンジ・カフェ」の立ち上げ・運営を行いました。

③地域づくりに向けた人材の育成

- 自治会や公立校におけるスポレク体験・福祉体験学習には、たひよう福祉センター・あおぞら福祉センターの利用者や障がい者支援のボランティアと共に取り組みました。障がい者スポーツを通じた地域交流やイベントの開催も盛んになってきました。
- 障がい理解の推進、多様性を認め合う「地域共生社会」の実現を目指し、地域社会における理解者・支援者の層を厚くしていけるよう活動しました。



相談支援に取り組む中で

①権利擁護の推進

- 小平市在宅医療介護連携推進協議会に参画し、意思決定支援が必要な方への支援及び市内支援体制の構築に取り組みました。
- 診断を行う医師への支援や職業後見人への後見報酬助成、市民後見人の育成を行いました。
- 本会、全職員が権利擁護の意識を持って職務にあたりました。

②アウトリーチの徹底

- モデル地域を設定し、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)1名が様々な課題解決に向けて取り組みました。

③相談窓口の連携

- どの窓口でも相談を受けた職員が相談者に伴走し、各対応窓口との連携を主導しました。

④制度の狭間にあるニーズへの組織的な対応

- 生きづらさを抱えるご本人やそのご家族等が自主的に集まり、地域に根差し、社会資源と連携しながら懇談会活動等を行っていく支え合い団体の立ち上げとその後の運営を継続的に支援しました。

本会の運営について

①法人運営および組織体制の充実、強化

- 「社協だより」で積極的に事業紹介を行っています。また、本会支援者に対して、書面による定期報告の回数を増やし、継続的な繋がり強化を図りました。

②財源確保と経営に向けた取組

- 地域福祉を推進するために自主財源が不可欠である理由、ファンドレイジングの必要性について研修を実施しました。

③行政とのパートナーシップ

- 市の「第四期地域保健福祉計画」・「第三期福祉のまちづくり推進計画」に反映されるよう、住民が主体的に地域生活課題の解決に取り組む体制づくりのため、CSW配置の必要性を訴え、地域福祉活動計画との一体的な策定に尽力しました。



権利擁護センター「市民後見人連絡会」

今後の取組について

- ボランティアセンターの地域密着型ボランティア講座を充実させ、地域ニーズの把握及び広報啓発を図るとともに、住民参加の機会を拡大していきます。
- 各部署が実施する講座等をきっかけに、興味や問題意識を共有する方たちが集まって、地域福祉活動に取り組むことができるよう支援します。
- 自治会等が開催する防災学習等を支援し、地域防災の周知・啓発に努めます。
- 「オレンジ・カフェ」の運営から、その居場所まで行くことが難しいというニーズが見えてきました。送迎等の同行支援について検討していきます。
- 災害時要配慮者の支援を考える「こだいらあんしんネットワーク」等に協力して、地域での防災講座等の開催実現を目指します。
- 障がい者スポーツのデモンストレーションや、福祉体験学習で当事者の生活について話を聞く機会をつくる等、当事者が活躍できる場面を創出します。
- 出前講座の充実を図り、権利擁護の啓発に努めます。
- 令和3年度からCSWが5名体制となることに伴い、アウトリーチを全市的に展開します。
- ご本人の主体的な意思決定に寄り添いながら支援する「寄り添い型」の支援機能の強化を図ります。
- 商工会との連携に努めるとともに、地域の商店街等へ個別に協力を依頼していきます。
- 地域の組織・団体との基盤強化を通じ、キーパーソンの発掘に取り組みます。
- ボランティアセンター等の本会自主事業を主に担当する部署は、社協らしさを全面に押し出した、本会だからこそできる事業の開発に努めます。
- 行政との対等なパートナーシップを構築するためにも、行政の補助金に替わる財源の確保を検討し、補助金への過度な依存を見直していきます。